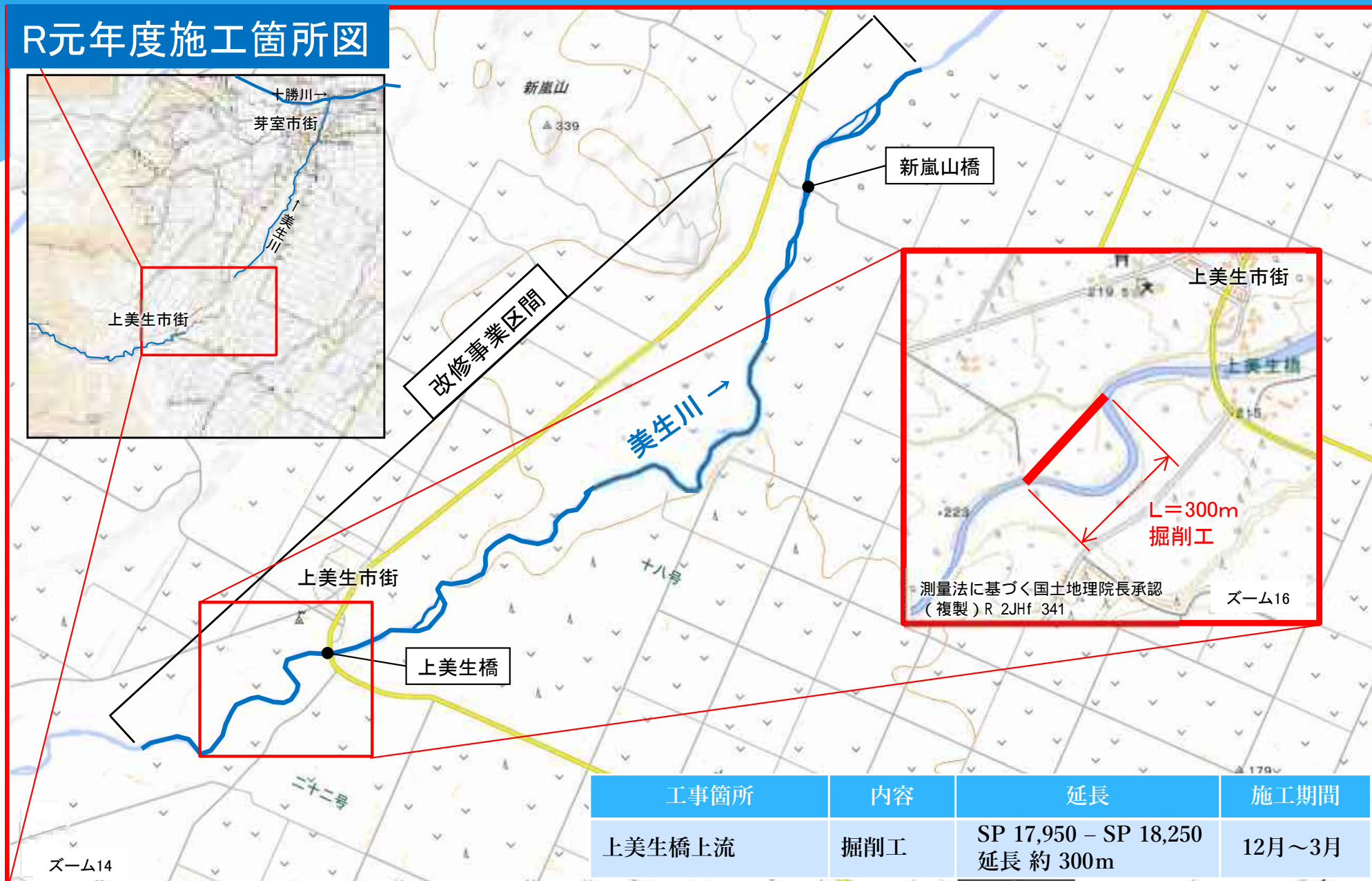


3. 美生川改修事業 ① R元年度工事

R元年度施工箇所図



3. 美生川改修事業 ① R元年度工事



最上流部から見た施工状況(R2.2.12)

② R元年度環境調査

3. 美生川改修事業

環境調査区間図



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 2JHf 341

内容	調査地点・区間	時期
底生動物・魚類調査	4地点	R元年5月・7月
植物調査	全域	R元年5月・7月・8月
哺乳類、両生類、爬虫類調査	全域	R元年5月・7月
昆虫類調査	4地点	R元年7月・8月
鳥類調査	全域(4区分)	R元年5月・6月
ボーリング調査	5地点(井戸調査)	R元年11～12月

3. 美生川改修事業 ② R元年度環境調査

底生動物・魚類調査結果概要

	結果概要
底生動物	41科76種
魚類	確認種：5科6種 重要種：3科3種



ウグイ



ウグイ属の一種



フクドジョウ



ニジマス

3. 美生川改修事業 ② R元年度環境調査

植物調査結果概要

	結果概要
植物調査	重要種：12科12種 特定外来生物：オオハンゴンソウ



オオハンゴンソウ

3. 美生川改修事業 ② R元年度環境調査

動物調査結果概要 ①

	結果概要
哺乳類	<p>重要種：1科1種</p> <p>普通種：コウモリ類の一種、エゾユキウサギ、エゾリス、エゾモモンガ、 ドブネズミ、アカネズミ属の一種、ネズミ科の一種、エゾヒグマ、エゾタヌキ、 キタキツネ、イイズナ、ミンク、イタチ科の一種、ノネコ、エゾシカ</p> <p>特定外来生物：アライグマ</p> <p>青字：外来種</p>



コウモリ類の一種



エゾリス



エゾヒグマ



エゾタヌキ



キタキツネ



エゾシカ



アライグマ

3. 美生川改修事業 ② R元年度環境調査

動物調査結果概要 ②

	結果概要
両生類	重要種：1科1種 普通種：ニホンアマガエル、エゾアカガエル
爬虫類	普通種：シマヘビ、アオダイショウ
甲殻類	重要種：1科1種



エゾアカガエル



シマヘビ



アオダイショウ

3. 美生川改修事業 ② R元年度環境調査

ワーキング委員参加による底生動物現地確認会

- * 重要種底生動物確認箇所において、ワーキング委員による現地確認会を行い、鏡委員に参加していただきました。



現地確認の様子



重要種を見つけた鏡委員

鏡委員のコメント

- * 重要種が確認された水域は段丘からの湧水由来である。掘削工事箇所とは距離があり、河床を掘り下げず、また、運搬や作業等で改変されないのなら、影響は小さいものと考えられる。

3. 美生川改修事業 ② R元年度環境調査

動物調査結果概要 ③

	結果概要
昆虫類	重要種：5科5種 特定外来生物：セイヨウオオマルハナバチ
鳥類	重要種：4科4種

青字：外来種

③ 今後の予定

3. 美生川改修事業

令和2年度の施工予定区間

* 事業区間最下流部の掘削と、今年度施工箇所の護岸を行う予定です。



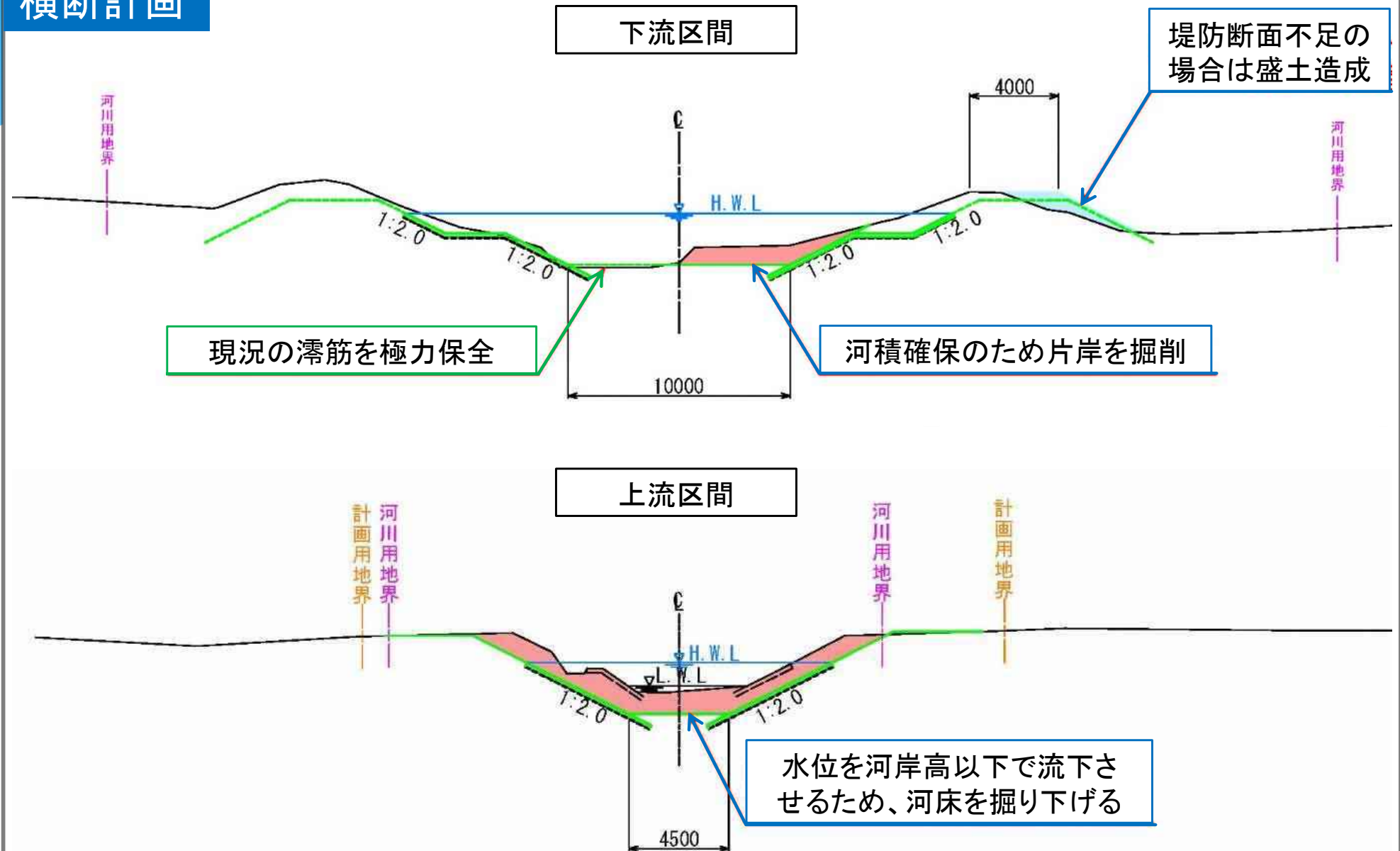
4. ピウカ川改修事業 ① 事業概要

事業全体箇所図



4. ピウカ川改修事業 ① 事業概要

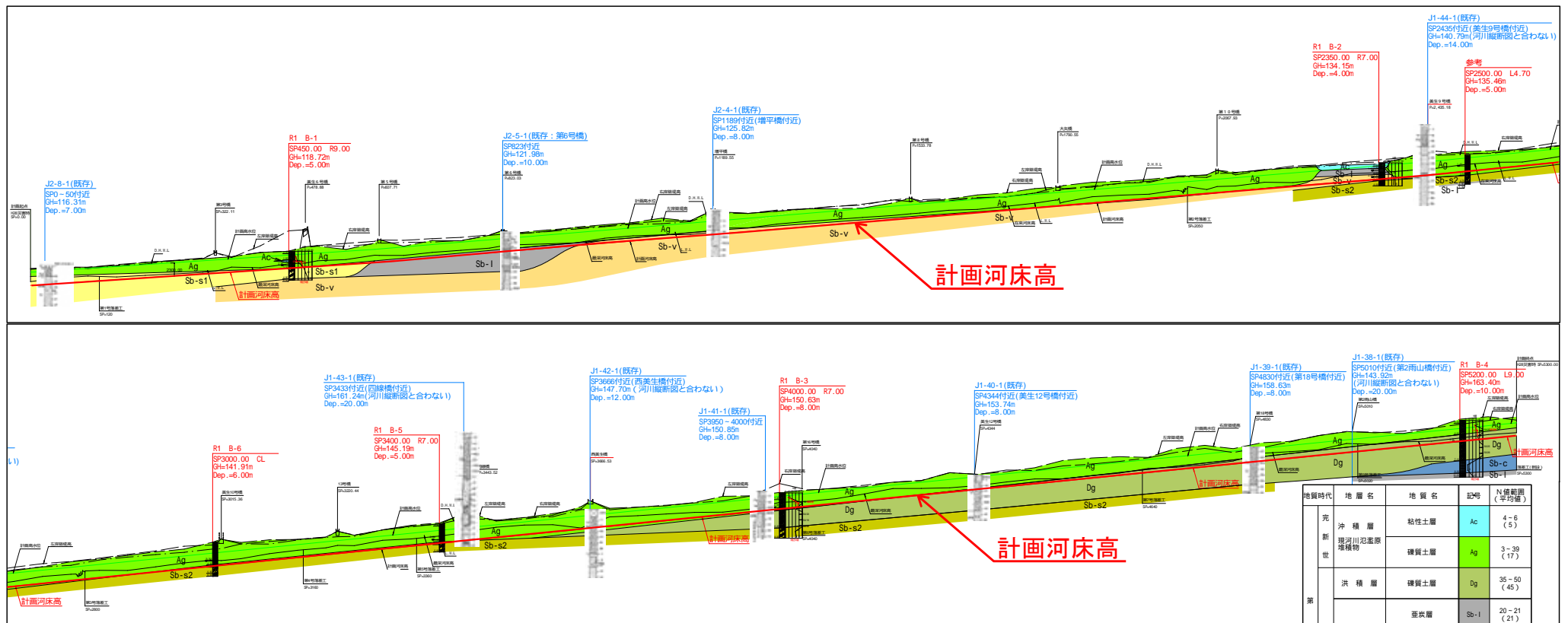
横断計画



4. ピウカ川改修事業 ① 事業概要

河床の地質に関して

- * 地質縦断図を確認し、河床の地質を調べたうえで施工に当たります。
- * 掘削により洪山層が現れた場合は、礫で覆うなどの対応を行う予定です。



地質縦断図

洪山層

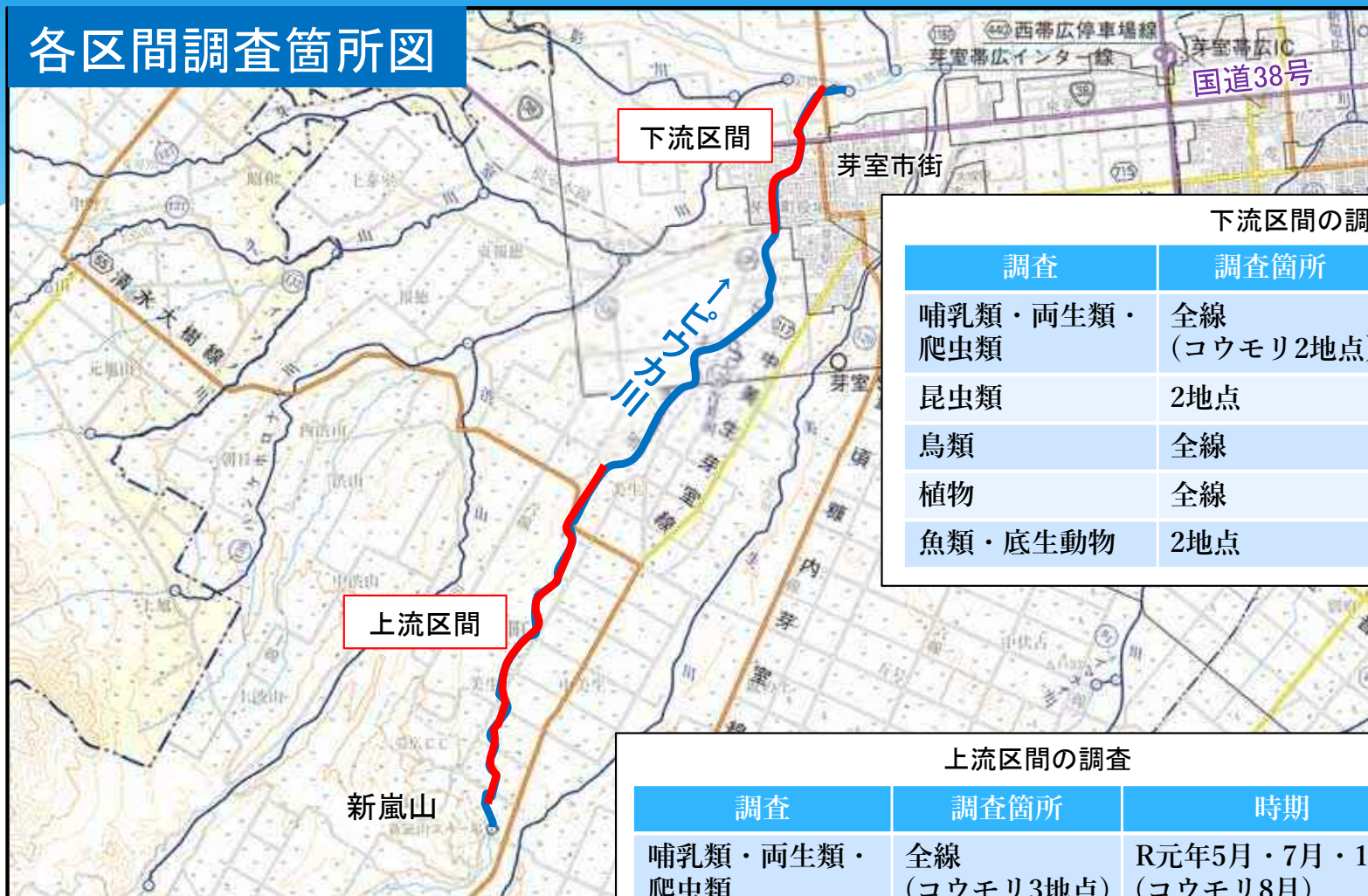
地質時代	地層名	地質名	記号	N値範囲 (平均値)
沖積世	沖積層	粘性土層	Ac	4 ~ 6 (5)
	堆積層	礫質土層	Ag	3 ~ 39 (17)
	洪積層	礫質土層	Dg	35 ~ 50 (45)
第四紀新世	洪山層	重灰層	Sb-1	20 ~ 21 (21)
		粘性土層	Sb-c	6 (6)
		砂質土層1	Sb-s1	32 (32)
		火山灰層	Sb-v	26 ~ 39 (33)
		砂質土層2	Sb-s2	25 ~ 33 (29)

平均N値：N値50以上は50を上限として平均値を算出。
補正N値を含む。
Ag層は礫のばらつきが大きいので標準偏差を考慮して平均値を算出。

② R元年度調査

4. ピウカ川改修事業

各区間調査箇所図



下流区間の調査

調査	調査箇所	時期
哺乳類・両生類・爬虫類	全線 (コウモリ2地点)	R元年5月・7月・12月 (コウモリ8月)
昆虫類	2地点	R元年6月・9月
鳥類	全線	R元年5月・7月
植物	全線	R元年5月・7月・9月
魚類・底生動物	2地点	R元年5月・7月・10月

上流区間の調査

調査	調査箇所	時期
哺乳類・両生類・爬虫類	全線 (コウモリ3地点)	R元年5月・7月・12月 (コウモリ8月)
昆虫類	3地点	R元年6月・9月
鳥類	全線	R元年5月・7月
植物	全線	R元年5月・7月・9月
魚類・底生動物	2地点	R元年5月・7月・10月

4. ピウカ川改修事業 ② R元年度調査

哺乳類・両生類・爬虫類調査結果速報(冬調査データ未整理)

	結果概要
哺乳類	<p>重要種：1科3種</p> <p>普通種：オオアシトガリネズミ、、エゾユキウサギ、エゾリス、エゾモモンガ、エゾヤチネズミ、エゾアカネズミ、ネズミ科の一種、キタキツネ、キタイイズナ、イタチ科の一種、エゾシカ</p> <p>特定外来生物：アライグマ、ミンク</p>
両生類	<p>普通種：ニホンアマガエル、エゾアカガエル</p>
爬虫類	<p>確認種：なし</p>

青字:外来種

4. ピウカ川改修事業 ② R元年度調査

昆虫類・鳥類・植物調査結果概要

	結果概要
昆虫類	52科137種 特定外来生物：セイヨウオオマルハナバチ
鳥類	28科49種 重要種：1科1種
植物	68科281種 重要種：10科15種 特定外来生物：オオハンゴンソウ

4. ピウカ川改修事業 ② R元年度調査

魚類・底生動物調査結果概要

	結果概要
魚類調査	重要種：5科6種 普通種：ウグイ、ウグイ属の一種、フクドジョウ、ニジマス、トミヨ属淡水型
底生動物	重要種：1科1種 特定外来生物：ウチダザリガニ（その他未整理）

青字：外来種



ウチダザリガニ

4. ピウカ川改修事業 ② R元年度調査

ワーキング委員参加によるウチダザリガニ現地確認会

- * ウチダザリガニ確認箇所において、ワーキング委員による現地確認会を行い、鏡委員に参加していただきました。



現地確認の様子



ウチダザリガニを捕獲する鏡委員



確認されたウチダザリガニ

鏡委員のコメント

- * ウチダザリガニは比較的流速が大きくても遡上する。このものは、十勝川本流から遡上したものであろう。特に今回の施工による影響はないものと考えられる。

③ 今後の予定

4. ピウカ川改修事業

令和2年度の施工予定区間

* 来年度は、下流区間の最下流部から工事を始める予定です。

